

学部・研究科等の研究に関する現況分析結果

学部・研究科等の研究に関する現況分析結果（概要）

研究 0-1

1. 体育学部・体育学研究科

研究 1-1

鹿屋体育大学

学部・研究科等の研究に関する現況分析結果（概要）

学部・研究科等	研究活動の状況	研究成果の状況	質の向上度
体育学部・体育学研究科	期待される水準にある	期待される水準にある	質を維持している

体育学部・体育学研究科

I	研究の水準	研究 1-2
II	質の向上度	研究 1-4

I 研究の水準（分析項目ごとの水準及び判断理由）

分析項目Ⅰ 研究活動の状況

〔判定〕 期待される水準にある

〔判断理由〕

観点1-1「研究活動の状況」について、以下の点から「期待される水準にある」と判断した。

- 第2期中期目標期間（平成22年度から平成27年度）の論文掲載の状況は、国際誌は平均40.2件、国内誌は平均100.7件となっており、主にスポーツ科学系の雑誌等に論文を発表している。
- 第2期中期目標期間の科学研究費助成事業の採択状況は平均29件（約5,900万円）となっている。
- 競技力向上へ向けた「TASS（Top Athlete Support System）プロジェクト」、運動による健康づくりを支援する「PALS（Promotion of Active Life Style）プロジェクト」を組織し、学際的な研究を実施している。

以上の状況等及び体育学部・体育学研究科の目的・特徴を勘案の上、総合的に判定した。

分析項目Ⅱ 研究成果の状況

〔判定〕 期待される水準にある

〔判断理由〕

観点2-1「研究成果の状況」について、以下の点から「期待される水準にある」と判断した。

- 学術面では、特にスポーツ科学の細目において特徴的な研究成果がある。また、競技成績を向上させるための研究による成果が見られる。
- 特徴的な研究業績として、スポーツ科学の「低酸素が誘発する早期筋疲労のメカニズム解明に関する研究」があり、低酸素が筋疲労を発現させるメカニズムを明らかにしている。
- 社会、経済、文化面では、特にスポーツ科学の細目において特徴的な研究成果がある。また、我が国のオリンピック参加やメダル獲得につなげるための競技力向上の研究による成果が見られる。
- 特徴的な研究業績として、スポーツ科学の「剣道における競技力向上の研究」があり、強化種目としての支援と伝統的修練法の実践を継続することによる成果をあげている。

以上の状況等及び体育学部・体育学研究科の目的・特徴を勘案の上、総合的に判定した。

なお、体育学部・体育学研究科の専任教員数は 64 名、提出された研究業績数は 13 件となっている。

学術面では、提出された研究業績 7 件（延べ 14 件）について判定した結果、「SS」は 1 割未満、「S」は 4 割となっている。

社会、経済、文化面では、提出された研究業績 6 件（延べ 12 件）について判定した結果、「SS」は 2 割、「S」は 3 割となっている。

（※判定の延べ件数とは、1 件の研究業績に対して 2 名の評価者が判定した結果の件数の総和）

Ⅱ 質の向上度

1. 質の向上度

〔判定〕 質を維持している

〔判断理由〕

分析項目Ⅰ「研究活動の状況」における、質の向上の状況は以下のとおりである。

- TASS プロジェクトの実績を踏まえ、持久力の改善に有効な低酸素トレーニングの開発に取り組むと同時に、スポーツトレーニング教育研究センターが中心となり、選手の専門性に応じた測定・分析の実施、質の高いデータのフィードバック等を行う「アスリート・ドックシステム」の構築・運用等に取り組み、オリンピックへの選手派遣や各種競技大会等における入賞等の成果をあげている。
- 幅広いライフステージに適用可能な運動処方として、貯筋運動プログラムを研究データに基づき策定している。公益財団法人と協力し、総合型地域スポーツクラブにおける健康づくりプログラム「貯筋ステーション」を構築・運用し、貯筋運動指導者講習会への本学教員の講師派遣により、プログラムの普及と指導者の育成に貢献している。貯筋ステーションの運用状況は、34 都道府県 54 クラブ、参加者数は 16,444 名となっている。

分析項目Ⅱ「研究成果の状況」における、質の向上の状況は以下のとおりである。

- 新たなトレーニング法や運動処方の開発に結びつく基礎研究に関する論文を、査読付専門学術誌に公表しており、スポーツ医科学領域の代表的な専門学術誌に 9 件の論文が掲載されている。
- 「剣道における競技力向上の研究」の研究成果により、文部科学省のスポーツ功労者顕彰を受けている。

これらに加え、第 1 期中期目標期間の現況分析における研究水準の結果も勘案し、総合的に判定した。